

番号	交付金事業名		
1	原子力科学館展示物等のリニューアル工事(第一期工事)		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名	公益社団法人 茨城原子力協議会		
交付金事業者実施場所	茨城県那珂郡東海村村松		
交付金事業の概要	原子力科学館展示物等のリニューアル工事のうち、ガイダンスシアター等の第一期工事を行う。		
総事業費	53,900,000	交付金充当額	53,900,000
		うち文部科学省分	26,950,000
		うち経済産業省分	26,950,000
交付金事業の成果目標	<p>原子力科学館の展示物は前回のリニューアル後約 10 年を経過し、陳腐化や老朽化が進み、補修費用の増加を招いている。一方、茨城県では JCO 臨界事故や福島第一原子力発電所の事故、さらには原子力施設の再稼働や高レベル廃棄物の問題等があり、県民に放射線や原子力に対する正確な情報を届ける重要性は以前にも増して高まっている。</p> <p>この現状に鑑み、原子力科学館展示物等のリニューアル構想を策定した。本構想に基づき、原子力科学館展示物等のリニューアル工事を実施することにより、来館者に対し放射線や原子力の安全に関する正しい知識の普及啓発を図る。</p>		
交付金事業の成果指標	原子力科学館展示物等のリニューアル工事(第一期工事)を着実に実施する。(リニューアル工事期間中も部分開館を予定しているため、部分開館時においても放射線や原子力の安全に関する知識の普及啓発が図れるような工事計画とする)		
交付金事業の成果及び評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>原子力科学館展示物等リニューアル工事(第一期工事)の第一弾であるガイダンスシアター(約6分)は、円筒型巨大スクリーン(233インチ)と2面構成プロジェクターにより、没入感のある映像「アトミックトラベル」と題して完成した。このガイダンスシアターによって、原子とは何か、原子力・放射線とは何か、といった基礎知識を分かりやすく伝え、来館者を科学館展示物等への関心を誘う導入部として活用できることとなった。</li> <li>来館者数は新型コロナ感染拡大の影響を受け、H30年度の21,264人から、R元年度20,884人、R2年度10,371人と減少したが、今回製作したガイダンスシアターにより来館者増加のための有力な要素となるものと期待している。</li> </ul>		

交付金事業の契約の概要

契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額
原子力科学館展示物等のリニューアル工事(第一期工事)	指名競争入札による契約先選定	(株)乃村工藝社	53,900,000
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無			
無し			